

「2014 こどもホタルエンジャー」 活動報告用紙

※この用紙には、先生や団体の代表者の方が記入してください。

① 団体名 (学校、企業、NGO/NPO など)	よみがな 逆川こどもエコクラブ
③ 活動名「タイトル」	よみがな ホタルの里再生ネットワークづくりプロジェクト
④ 活動場所	水戸市逆川緑地から市内3か所へ
⑤ 今回活動した こどもの学年・人数	小学生 126 人 中学生 34 人 (うち、クラブメンバー104 人)
⑥ 活動期間	2014 年 5 月 11 日 ～ 2014 年 11 月 26 日 (※継続年数 9 年)
⑦ おもな受賞歴	こどもホタルエンジャー活動奨励賞(2014 環境大臣)、茨城県表彰(2013 茨城県知事) こどもエコクラブ賞(2014 こどもエコクラブ事務局)、環境壁新聞コンクール茨城県 最優秀賞(2012, 2013, 2014)、環境保全功労者表彰(2012 環境省水大気環境局)
⑧ 団体(学校・企業・NGO/NPO など)の紹介(400 字程度で簡潔に)	
2005 年、30 年前に水田がなくなり、ホタルが姿を消していった水戸市内逆川緑地のホタル再生活動に取り組むため、逆川こどもエコクラブが出来ました。当初 6 名だった会員は現在 104 名、ホタルだけでなく、市内の環境ボランティア活動には欠かせない子どもたちに成長しました。活動当初、保育園児だった子供は今年度、中学を卒業します。ホタルの保全活動は毎年 3 回っていますが、上級生から順番に、草刈り鎌、スコップ、一輪車の使い方が伝授され、継続して伝えていく持続可能なプロジェクトになっています。本年度は、この、ホタル再生活動に対し、ESD フォトコミュニケーション全国大会に関東ブロック代表として参加し、発表する機会にも恵まれました。	

⑨ 活動の目的・概要(500 字程度で簡潔に)	
報告するメインの取組に○を入れてください。	
☐	ホタルや水辺の生きものに関する観察・保全活動などの取組
☐	河川など水辺における活動を基本とした、水環境の保全に関する取組
☐	いなくなったホタルや水辺の生きものを呼びもどす取組
私たちが水戸市街地にある逆川緑地のホタル再生活動をはじめて 9 年になります。 この活動は、水戸市の千波湖周辺のホタルを継続して守っていきたいと思うことからはじまります。 環境省ふるさと生き物の里に指定されていた常照寺のホタル発生地が雑草地化してしまい、数が減って危機的な状況になったことから、2005 年に子どもたちが数人集まって逆川緑地の湧水地で除草作業やあぜづくりをおこない、常照寺からいただいたホタルの卵を放流したことがはじまりです。その後、ホタルは逆川緑地を生息地としてゲンジボタル、ヘイケボタルともに発生数を伸ばしてきました。本年度、千波湖周辺の 2 つの学校と 1 つの市有地で、雑草地化した湧水地を再生してホタルを飛ばしたいと要望があり、当クラブでは、これまでの経験を生かして造成活動に参加、水戸のホタルを千波湖全域で保全できるネットワークづくりをつくることを目的としました。	

⑩ 活動の内容について、流れがわかるように記入してください。

その際、活動の成果（調べた内容や達成した内容）も写真やイラストなどを可能な限り添付（又は送付）して、具体的に記載してください。

1. ホタルの里再生ネットワークの目的

水戸市内で減少のホタル生息地 ⇒ 2005 年から逆川緑地を整備 ⇒ 2007 年に水戸市内ホタルの卵を逆川再生地に放流 ⇒ 7 年間の維持管理活動で安定発生 ⇒ 同じ地域のホタルを生き長らえさせるプロジェクトが本年度発信しました。

①ホタル再生プロジェクト位置図

私たちが守っている逆川緑地のホタル再生活動は、雑草地化によってホタルの生息数が危機的な状態にあった常照寺のホタルを生き長らえさせようと、2005年に整備した逆川緑地に移植した卵によって水戸のホタルを再生させました。

常照寺は昨年度、ヘイケボタル、ゲンジボタルともに、ほぼ消滅してしまいました。

市内のホタルは、私たち逆川緑地に生き残り、9年が経過しました。

そして、このホタルを守るため、生息地を広める活動がスタートしました。

②ホタルを保全していくために

昨年、千波公園エリア北端の常磐大学で、本年春には東端の水戸市公園協会が管理する西の谷公園が、秋には西端の英宏小中学校の斜面湧水地から、それぞれホタル再生を行いたいと申し出がありました。

私たちは、常照寺のように、雑草地化が進んで消滅することがないように、私たちのホタルを新たな3か所に生息地を広げ、水戸市内中心部の東西南北の湧水地でホタルが生き延びていけるようプロジェクトが発進しました。



2. ホタル保全の方法を2つの団体に伝える

①ネットワーク3団体の協働：常磐大学と公園協会に保全体験をしてもらいました//6月28日(土)

逆川緑地の保全活動に、常磐大学と公園協会の方々が視察に来ていただき、一緒に活動を行い、体験してもらいました。

例年通り、ホタルが成虫で発生している間に、水路水際の除草、産卵するコケの養生、周辺雑草の刈り取りを行いました。あいにくの小雨降る中でしたが、協働作業を終えました。



視察の方々とごあいさつ



看板の立て直し



看板立て



水際の除草



産卵コケの保全



蛙の土盛り

②常磐大学ホタル移植地の整備//7月19日、7月26日

造成活動 7/19: 常磐大学の斜面下の湧水がみられる雑草地を、当クラブと大学生、地域の方々とホタルがすみやすい環境に造成しました。

はじめに、クラブの中学生が指標生物による水生生物調査を実施。サワガニやヘビトンボといった、きれいな水にすむ生き物を確認し、水質がかなり良いことが分かりました。また、貴重動物環境省レッドリスト絶滅危惧種(EV)のホトケドジョウがみつきり、新たな発見をすることができました。



指標生物による水環境診断



サワガニを確認



公園協会の方も手伝いに



蛙つくり



ヘイケボタル生息湿地づくり



ホトケドジョウ確認



大学生と完成記念写真



7月26日 夜 逆川保全地のホタルが産んだ卵を提供、サポーターが放流



③西の谷公園ホタル移植の整備//10月25日(日) 4団体協働で実施

次は、公園協会が管理する公園内にある湧水地の整備を行い、ホタルが生息できる条件を整えました。
逆川こどもエコクラブ、常磐大学、公園協会、英宏小中学校と市民が一致団結して、湧水水路の改造を行いました。
泥だらけの作業になりましたが、造成が完了しました。



開会式 こども 160 人と大人 80 人が参加



クラブ代表のあいさつ



作業開始 ホタルイを植える



湿地帯造成は軽いこどもたち大活躍



セキショウを植える



カキツバタを植える



セキショウやガマも植えました



大人もこどもも泥だらけ



ホタル水路と湿地の完成

④英宏小中学校の斜面下湧水地の視察//10月14日 来年のための現地確認

来年、本格的に造成するための現地視察を行いました。湧水は豊富ですが、斜面には森が覆いかぶさり、日陰が多かったです。水生生物は、ヘビトンボ、サワガニ、ウズムシがすんでおり、きれいな水であることが分かりました。



英宏小中学校斜面現地確認



ヘビトンボ発見



来年に整備をはじめます

調査のあと、中学生たちと周辺のゴミローラーを行いました。
タイヤや自転車などが捨てられていて、約 80kg のゴミが回収されました。



⑤ホタルネットワークの地域活動を開始

3つの団体が情報を共有したことで、ホタル活動を終えた10月26日に、水戸市のシンボル千波湖で外来魚の除去活動を、11月2日に桜川に遡上するサケの産卵場の清掃活動、11月30日にはサケの卵の調査、水戸ホーリーホックホームゲームにてエコ工作教室なども一緒に行いました。



サケ産卵場の川の清掃



ペットボトルで万華鏡工作



サケの卵調査



外来魚釣り大会開会式



逆川ではオオクチバス釣り



千波湖はアメリカナマズ

3. ホタルレンジャー成果の発表会

環境省主催の全国ESDフォトコミュニケーション大会が、渋谷の国連大学にて行われ、当クラブは関東ブロック代表として発表を行ってきました。普段は外国の方々が翻訳機を使って協議をする立派な会場です。ホタルレンジャー隊員として保育園児から9年間、ホタル活動に参加してきた品田桜子さんが代表してプレゼンを行いました。「私は保育園児から9年間ホタル再生活動を・・・」の素晴らしい内容に、ゲストのぱっくんまっくんも耳を傾けていました。また、逆川緑地のホタル再生ESDは、11月に行われた国連ユネスコ会議(名古屋)にて、各国のゲストに説明するためのプロモーションビデオとして会場で放映されました。



⑪ 活動で工夫したことなどを記入してください。(800字程度で簡潔に)

クラブの年長である私は、保育園児のとき、環境省指定のふるさといきものの里常照寺のホタルが年々少なくなってきた現場を見て、逆川緑地の雑草地帯をホタル生息地に再生しようと活動をはじめました。今年、クラブのサポーターから常磐の森や西の谷の話聞いた時に、逆川のホタルは水戸の財産であり、一緒に活動していただけるのなら卵を分けてあげたいと思いました。水戸は、2011年の震災の被害を受け、湧水が出なくなった地域もあるからです。私たちの活動はずっと、こどもエコクラブが引き継いでいってくれると思いますが、万が一、湧水が出なくなったとき、このホタルはいなくなってしまうからです。水戸市の千波湖を中心に東西南北の湧水地にこのホタルがすみついてくれば、きっと、いつまでも水戸のホタルとして守られていくと思ったからです。

このため、クラブの仲間との話し合いも行い、3か所の団体に私たちの活動をみていただけるように工夫しました。

そして、常磐大、西の谷にホタル生息地の造成をお手伝いしにいて、今年は常磐大学にホタルの卵を提供しました。

来年は、造成が完了した西の谷と、これから造成する英宏小中学校に卵を提供します。人と人をつなぐ工夫が、大きな力になり、気が付くと、クラブが実施する外来生物の除去活動や、リサイクル工作、ゴミローラーにも4団体が一緒に参加していることが大きな成果です。活動する人たちが2倍になり、うれしく思います。



2006年 ホタレンジャーが結成された逆川こどもエコクラブ(当時10名)



本年100名を超えて工夫した地域協働

⑫ この活動を通して、指導者から見た子どもたちの意識の変化、行動の変化などがあれば記入してください。

(800字程度で簡潔に)

昨年度、2月に開催された全国ホタレンジャー事務局の指導者研修会で当クラブがホスト役を務めさせていただき、はじめてこどもたちが8年間の活動プレゼンを行いました。その翌月、環境省にて奨励賞をいただき、最初から9年間ホタレンジャーに関わってきた中学生の行動に大きな変化がありました。世論では、ESDが着目されていますが、自分たちは後輩に教えながら年3回のホタレンジャー活動を行い、ホタルが増えていることに、自らのESDへの自信が出てきたのだと思います。各中学校のパソコン部のこどもたちが毎月集まり、今までの写真を整理し、パワーポイントを作成するなど精力的に活動する変化があり、発表などは役を決めて自分たちで参加者をもてなす楽しさも味わっています。

この活躍に市民が着目しはじめたこともきっかけです。常磐大学や英宏小中学校は生徒の環境教育としてやらせたいと申し入れが、水戸市も公園協会が観光振興に役立てたいと当クラブのこどもたちの行動を「見て、実行して、協働する」ことに繋がっています。実際に担い手として協力しましたが、作業で一番、輝いているのは実経験をしてきたクラブの子供たちです。こどもたちの除草やあぜつくりの手早さに、各地域の方々が「すごい」と言われることにとっても満足し、意識が更に高揚していくことを実感しています。



プレゼン練習風景



ワークショップで意見交換



指導者講演会で勉強

カピニオン

ホタルの里再生へ

水戸偕楽園・千波湖周辺

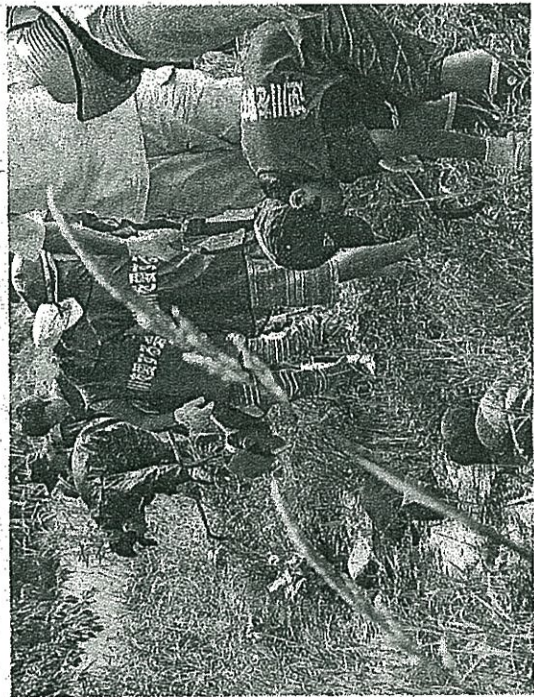
ホタルの里を再生させよう。水戸市の偕楽園・千波湖周辺4カ所でプロジェクトが動いている。荒れ放題の雑草地に手を入れ、湧き水が出る条件をまかしてホタルが生息できる環境を取り戻す活動だ。子どもたちを維持管理の主体とし、環境・理科教育にも役立てている。関係者が「ネットワークが築ければ公園の魅力にもつながる」と夢を膨らませるように、周辺の商業・観光振興も期待される。

(水戸支社・武藤秀明)



■大学、小中学校…
プロジェクトは、逆川緑地（逆川こどもエ

「コトコ」④常磐の森（常磐大学）⑤西の谷（市公園協会）⑥葉山の泉（私立葉小中学校）で、6年前にホタルの里再生に成功した逆川緑地の成功が各地に飛び火した。水戸市豊和十目の「常磐の森」は、昨年



から始まった。荒れ放題だった大学構内の水生植物園で、松原真哉准教授のゼミ生が雑草やけむらぎ、川底に堆積していた落ち葉を取り除き、今年夏には成虫の出現を観察した。大学のすぐ目の前に流れている逆川にも、ホタルの里を広げたいとしている。

「ホタルンジャー」として子どもたちが暑がりやな作りの置屋に励む逆川緑地の活動（2013年6月撮影）

プロジェクト子ども主役、観光振興期待

方針だ。景勝・大土庫という商業地に隣接する「西の谷」では、水戸市公園協会が今年から水路整備に着手した。商業地域から歩いて往来できる水邊環境があり、小川敷市公園協会の理事は「商業活性化はもちろんで、観光資源として生かしたい。4地点がネットワークを組めば、夏の風物詩になるだろう」と夢を膨らませる。

■次世代へ伝える
ホタル再生に賛意を寄せ重なる一帯川緑地は、湧き水が出る環境周辺の雑草を生かして「ホタルを再生させよう」と、2006年に除草や水路作りなどの整備が始まり、翌年、放流した卵が成虫に成長した。成功の鍵について、県環境アドバイザーの川島三子氏は「子どもを主役として取り組む、ホタルの里を未来につなげる条件が整った」と指摘する。

子どもたちは「逆川こどもエココトコ」や「逆川こどもホタルンジャー」として維持管理に活躍。次世代へ知恵と経験を伝える継承者として期待される。ともに、除草やおぼせ作りに当たる貴重な戦力だ。

■失敗経験教訓に
水戸市内では6年前に環境省「逆川こどもエココトコ」に浜田地区の常照寺周辺が認定されているが、雑草化が急速に進み、2003年のゲンジボタルの発生はほぼ止まり。ホタルの里消滅の危機に襲われた。ホタルの生息数は、ある程度回復したものの「除草やおぼせ作りのような維持管理活動がないと、ホタルの里は消滅してしまおう」という教訓を残した。常照寺のホタルを再生させるべく、幼虫を放流したのが逆川緑地だった。

ほかにもプロジェクトが増えたことで、水戸市のホタルが千波湖・偕楽園一帯に生息する構図が出来上がった。

時論

道路の維持管理

2012年12月2日に発生した埼玉トンネル大規模落石事故から、2年が経過しようとしている。老朽化に起因した高層道路上の事故としては史上最大の事故で、わが国の社会基盤が抱える問題を浮き彫りにし、より一層、老朽化対策の必要性が叫ばれるきっかけにもなった。

客員論説委員

岡本 直久

手法の格別導入が求められており、国をはじめ地方自治体や関連する組織によるさまざまな取り組みが進行中だ。例えば橋梁施設では、その重要度に応じた点検・維持工事、

最近では社会基盤として、道路も重要な役割を担っている。その道路維持に関しては、その多くを地方自治体が管理しており、20年後には約54%以上が建設後5年以上を迎えると指摘されて

従来手法に比べて予防保全方式の維持・管理が重要であることを指摘し、それに従って計画的な維持・管理がなされるれば、従来方式よりも格段の費用削減が達成できることが強調されている。例えば、5年や10年で大規模に修繕を行

能や管理の再整理が必要で、事業者や国土交通省などの関係機関との連携が重要で、今後の維持管理は多岐にわたる。シミュレーションが求められる。多くは町民だけでなく、事業者も責任を担う必要がある。不足して

総力挙げて効率化を

改善などの総合的かつ計画的な実行のための維持管理計画を策定し、順次効果的に

いる。これらの約7割以上は市町村が管理している。既に国の道に比べて、多

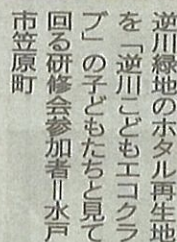
くとも、毎年総額を200億円に引き上げ、国庫補助金

ファクス(273)3979

ホタル守る活動報告

水戸・荒川 環境保全の研修会

逆川のホタル再生事業は05年にスタート。現在はゲンジボタル、ヘイケボタルを見るこ



研修会で、参加者は除草を徹底して湿地帯を復活した場所に出向き、湧水池と水の流れを見学。同クラブ事務局長の川島省二さん

通機関使おう
参加者に抽選で賞品
28日まで

エコクラブ歴8年の渡辺敬夫さん㊦は「ホテル再生の好適地が新潟市内ではなかなか得られない。どう取り組むかは課題」と話した。

サンシヨウウオの観

察を通して、地球温暖化を学ぶ素材にしているひたちなか市の三沢豊さん㊦は「自然再生まで手掛けている逆川の活動は参考になる」と感心した様子で語った。(武藤秀明)

保育園児30人
一年の健康願
笠間・愛宕神

度のマイカー依存生活を見直すきっかけにしてみらうのが狙いで、毎年度2回ずつ実施されている。

り替えを促すため、各市町村の首長や職員が10～16日、17～23日の各週1回ずつマイカー通勤を控える予定。座

参加対象になるのは、9市町村の住民の2日間、電車通勤と、9市町村への通勤する。

施設などの利用者。普段からマイカーを使っていない場合も含めて、キャンペーン参加者には自己申告でフレズントに応募できる。

各市町村庁舎や公民館、鉄道駅、バス車内などに設置されているチラシに付いた専用はがきか、各市町村のホームページからアクセス

プレゼントは各市町村の特産品や施設利用券、交通事業者オリジナルグッズなどで、抽選で当たる。

公共交通などへの切り合わせは各市町村。

保育園児30人、
一年の健康願
笠間・愛宕神社
笠間市泉の雲石神社
(三村正光総代会長
で3日、節分追儺式
行われ、同市下郷の
間保育園(柴山芳江
長)の園児が福豆を
き、この一年の健康
願った。
参加したのは、年
の5歳児30人。そろ
の法被姿で、頭に鬼
面を付けて拝殿に
り、神主による厄払
巨大しめ縄の二
「福は内、鬼も内
笠間・出雲大社
笠間市福原の出雲
社常陸教会(高橋宣
会長)で3日、節分
が行われ、神主や総
会、年男女などが
をまき、この一年の
を呼び込んだ。
同教会によると、
春に来る鬼は、先

災の被災者を勇気づけようと、
2012年から始まった。昨年は
174件の応募があったとい

大洗水

1に招かれる。問い合わせ先は
大洗水族館(029・267・
5151)。



桜川に遡上してきたサケ＝水戸市中央1丁目の美都里橋付近

桜川 今年もサケの姿 戸

遡上確認から10年目 水

水戸市中心部を流れる桜川で今月、サケの遡上^{もじりあがり}が確認された。川沿いが散歩やジョギングコースとして親しまれる桜川で、専門家がサケの姿を確認してから10年目を迎えた。

環境保全の調査や助言をする県環境管理協会の調査事業長・川島省二

さんが6日、偕楽園公園内にある梅郷橋付近の桜川で今季初めてサケを確認した。本流の那珂川では多く見られるが、街なかを流れる川でサケが遡上するのは全国的にも珍しいという。

桜川にある柳堤堰^{りゅうでいせき}(水戸市柳町1丁目)は、堰を上げて上流側の水位を高く保つことで、農業用水路の備前堀へ通水している。だが、堰を下げた状態にしないとサケは遡上できない。

05年に工事のため水位を下げなければならず、堰を下げたところ、サケが遡上してきた。市は09年から、

サケの遡上に合わせて1月中旬ごろまで堰を下げており、産卵から遡上までのサイクルが続いている。5年ほど前からは、川島さんが、清流で見られるアユの遡上も確認しているという。

桜川の水質が改善された大きな要因は、下水道が整備されたことだ。水戸市は1970年代から下水道の普及に力を入れてきた。95年に40%弱だった市の下水道普及率は05年には56・6%に上昇。今年3月末には76・4%になっている。

さらに市は、07年から毎年11月に市民も参加する桜川周辺の清掃活動を実施している。今月1日の活動で拾ったごみの量は約700^{キログラム}で過去最少だった。

ただ、堰を上げる時期には、水流が滞る影響で川にアオコが大量発生するという問題も起きている。

(角詠之)

わ未二
く「
で「
と)ッ

26日、89歳。西河内
後1時、セレモニ
常陸太田駅前。長

大子 83歳。大

2時、大子町斎場。

常陸大宮 日、

28日午後1時、JA

イルみどり。長男

清子 26日、81歳

日午後1時、セレモ

ホール。長男修一

東海 84歳。石

後1時、ひたちなか

ちなかホール。長男

那珂 84歳。額

午後1時、那珂聖苑

田所義雄 25日、

郷。29日午後1時、

祭典セレモニア富士

長男勝一

ひたちなか 25

田。29日正午、日本

勝田教会。長男栄

25日、88歳。柳沢

時、常陸海浜広域斎

川上常子 25日

和。30日午後1時、

かホール。長男均

水戸 84歳。島田

1時、東水戸ホール

杉森よし 25日、

丁目。30日午後1



未来に残したい、私たちの地域の大切なものがし

ESD Education for Sustainable Development

全国子どもフォトコミュニケーションプロジェクト 全国発表会

11月2日、国連大学本部(東京都渋谷区)にて、「ESD全国子どもフォトコミュニケーションプロジェクト」(主催:環境省)の全国発表会が開催されました。全国から226点(1478名の子どもの参加)の応募があり、その中から選ばれた各ブロック代表の子どもたちが集合。写真を通して一人でも多くの人に伝えたい「未来に残したい地域の大切なもの」を発表しました。

「ESD全国子どもフォトコミュニケーションプロジェクト」とは?

1枚の写真には、言葉では伝えきれない多くの情報があります。多くの人と写真を通じてメッセージを交換し合うことで、大きな共感と理解を得ることが出来ます。「ESD全国子どもフォトコミュニケーションプロジェクト」は、「地域にとって大切なもの=未来に残したいもの」について子どもたちがグループ単位で話し合い、自分たちで選んだ大切なものを写真に残します。そして、大切なものに込めた想いを伝えることで地域への思いを写真、地球と地域の未来をつくる「学び合い」と「人づきり」につなげていくプロジェクトです。

プロジェクトの進め方

- ステップ1 グループをつくる
- ステップ2 「未来に残したい、地域の大切なもの」を話し合う
- ステップ3 「一番残したい、地域の大切なもの」を写真に撮る
- ステップ4 活動報告シートを完成させて送付する

ESDとは?

ESDとは、「持続可能な開発のための教育」(Education for Sustainable Development)の略称。社会の課題と身近な暮らしとをつなげ、未来に向けてそれらの課題を解決する力を身につけるための学習や活動のことをいいます。今、私たちは環境、貧困、人権、平和などさまざまな社会の課題に直面しています。このような課題を解決し、豊かな地球を未来に残すためには、一人ひとりが考え、行動することが大切です。国連は、2005年～2014年を「ESDの10年」として、世界各地でESDの積極的な取り組みを呼びかけました。その最終年である今年11月、岡山市と名古屋市で「ESDユネスコ世界会議」を開催。世界中からESDに関わる関係者が集まり、これから先、何をなすべきか話し合われました。

発表会レポート! 全国7ブロックから選定された各ブロック代表の子どもたちが取り組みを発表しました!

北海道
ブロック

大切な海の宝物 オホーツクの流氷



私たちは「オホーツクの流氷」を選びました。流氷によってクマノエビなどさまざまな海洋生物が沿岸に運ばれ、観光客も大勢やってきました。流氷がくまなく押し寄せてきた年は豊漁になることも分かりました。しかし、急激な環境の変化によって、前より流氷は減っているそうです。

流氷がなくなったら、私たちの住む地域、日本の環境はどうなるのでしょうか。これこそが、未来に残したい海の宝物です。

東北
ブロック
福島県

美しい桜を守りたい 石部桜(いしべさくら)



宮城県は、会津磐梯山や遠く代官山と続く山脈が特徴です。その山脈から流れてくる水が、桜の成長を支えています。桜は、春の訪れを告げる花です。桜がなくなると、春の訪れが感じられなくなります。桜を守りたいです。

桜は、春の訪れを告げる花です。桜がなくなると、春の訪れが感じられなくなります。桜を守りたいです。

関東
ブロック
茨城県

ホテルの復活と保全のために みんなでろんこ「ホテルくん」今年も光ってね



茨城県は、ある調査で「魅力のない都道府県1位」になりました。でも、未来に残したい大切なものはたくさんあります。そのひとつが「ホテルくん」です。ホテルくんは30年前、ホテルが壊れてしまったが、水田をよめたことで復活しました。ホテルくんの復活のために、みんなが力を合わせています。

ホテルくんは、水田をよめたことで復活しました。ホテルくんの復活のために、みんなが力を合わせています。

中部
ブロック
愛知県

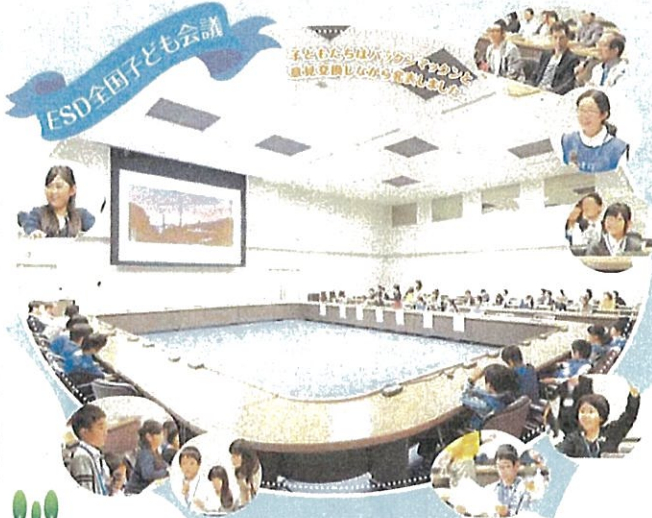
きれいな夕日をいつまでも 夕やけ



夕やけの写真を撮影した理由は、夕やけがきれいです。夕やけの光は、その日の疲れを癒してくれます。夕やけの光は、その日の疲れを癒してくれます。

夕やけの光は、その日の疲れを癒してくれます。夕やけの光は、その日の疲れを癒してくれます。

夕やけの光は、その日の疲れを癒してくれます。夕やけの光は、その日の疲れを癒してくれます。



近畿
ブロック
大阪府

豊かな森は緑のダム 守ろう!近畿の水がめ琵琶湖!



私たちは住む大阪で使われている水は、淀川から取って、淀川を流れて琵琶湖にたどり着きます。琵琶湖の水は、私たちの生活に欠かせません。琵琶湖の水を守りたいです。

琵琶湖の水は、私たちの生活に欠かせません。琵琶湖の水を守りたいです。

琵琶湖の水は、私たちの生活に欠かせません。琵琶湖の水を守りたいです。

中国四国
ブロック
愛媛県

これからも自然と仲良く 千年のくすの木とあかしゅ



くすの木は、自然の恵みです。くすの木は、自然の恵みです。くすの木は、自然の恵みです。

くすの木は、自然の恵みです。くすの木は、自然の恵みです。くすの木は、自然の恵みです。

九州
ブロック
熊本県

私たちの身近な「水神さん」 田んぼを潤す地下水



水神さんは、田んぼの神様です。水神さんは、田んぼの神様です。水神さんは、田んぼの神様です。

水神さんは、田んぼの神様です。水神さんは、田んぼの神様です。水神さんは、田んぼの神様です。

バックマクンによる トークショー

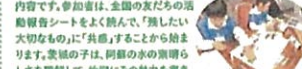


バックマクンは、未来の子どもたちを救うために活動しています。バックマクンは、未来の子どもたちを救うために活動しています。

バックマクンは、未来の子どもたちを救うために活動しています。バックマクンは、未来の子どもたちを救うために活動しています。

ワーク ショップ

「未来に残したい地域の大切なもの」マップづくり



マップづくりは、未来の子どもたちを救うために活動しています。マップづくりは、未来の子どもたちを救うために活動しています。

※この用紙には活動に参加した子どもたちが自由に書いてください。



2014 こどもホタルレンジャー報告書

活動して「気付いたこと、感じたこと、考えたこと」などを、みんなで話し合って自由に報告してください。写真や絵などでも OK です。

私が発表できることになったのです。

そして、当日 私はホタルの保全活動について 発表しました。

ホタルの保全活動

6月…… 草刈、あせづくり

草刈 ホタルの幼虫が 上がってくる時に草がたくさんあると邪魔なので、草刈をする。

あせづくり ホタルの幼虫が さなぎになって土の中にもぐるとき、あせを作る

また、天敵のザリガニを捕ったりもします。



草刈ってあります



あせづくり中…… 土盛りモリ!!



ホタルの幼虫が 食べるカタナがたくさん発生するように、住みかになる石を入れています!

ザリガニとり中……
たくさん取れたかな?
楽しそう!

裏へ続く……!!

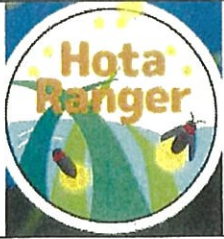
このような場所からも私達の活動を知らせて、
どんどんESDの輪を広げていきたいです。

私は保全活動を続けて8年で中学1年生になったのですが、
高校生になってもずっと続けていきたいです。



11月29日(土)
も来てくださ
りました。

※この用紙には活動に参加した子どもたちが自由に書いてください。



2014 こどもホタレンジャー報告書

活動して「気付いたこと、感じたこと、考えたこと」などを、みんなで話し合って自由に報告してください。写真や絵などでもOKです。

リチ。をまい。ア。ル。いて
メ育です。しなま。も。で。タル
ア。が。の。で。ビ。て。少。し。ル。の。ホ。て。知。
、草。と。ッ。か。て。タ。う。て。し。に。
は。雑。い。こ。グ。な。魚。ベ。ホ。ま。け。や。人。
と。、て。う。や。く。の。食。し。続。た。増。な。
こ。と。え。い。ニ。し。ど。た。て。を。し。を。ん。
た。こ。増。と。か。な。が。し。れ。動。ま。物。ろ。
い。い。が。う。り。お。り。ニ。ま。ら。活。い。き。い。す。
付。タ。ー。ウ。サ。ガ。ボ。ガ。え。べ。の。思。生。を。で。
気。り。ピ。た。カ。系。ノ。リ。考。食。一。の。と。い。
て。な。ッ。ん。リ。態。シ。ザ。と。に。ヤ。い。来。こ。し。
しか。グ。た。メ。生。ヨ。カ。か。ニ。ジ。た。在。の。れ。
動。が。、シ。ア。と。で。リ。い。ガ。ン。き。け。そ。う。
活。ニ。と。放。、い。変。メ。な。リ。し。い。続。し。ら。
が。か。こ。が。て。な。大。ア。は。ザ。タ。て。を。出。た。ら。
く。り。い。か。し。し。ら。で。カ。ホ。、動。を。え。
ぼ。ザ。す。れ。そ。除。か。で。の。り。の。守。活。果。ら。
カ。や。だ。馬。区。う。の。た。メ。こ。を。結。も。

これからも
がんばります。

逆井川こども
エコクラブ



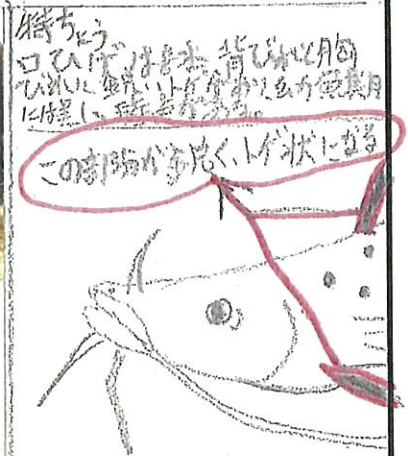
※この用紙には活動に参加した子どもたちが自由に書いてください。



2014 こどもホタルレンジャー報告書

活動して「気付いたこと、感じたこと、考えたこと」などを、みんなで話し合って自由に報告してください。写真や絵などでもOKです。

千波湖のアメリカナマス フィッシング



「ぼくは、8月9日、10月25日、千波湖のアメリカナマス フィッシングに参加しました。

2年前の8月にはじめて、確認された、アメリカナマスは千波湖にすむ在来種のワカサギ、ミツゴ、タモロコ等と食べてしまうので、除去して在来種を守るためです。

8月9日は釣ることができませんでしたでしたが、10月25日には2匹釣ることができました。

外来種は生態系を変えてしまうけれど100%除去することは千波湖の水をぬいての除去も不可能と思われるので、外来種を除去する方法を考えながら少しでも外来種を除去し在来種を守りたいです。

6年

※この用紙には活動に参加した子どもたちが自由に書いてください。



2014 こどもホタレンジャー報告書

活動して「気付いたこと、感じたこと、考えたこと」などを、みんなで話し合って自由に報告してください。写真や絵などでも OK です。

「サケレンジャーの活動」

11月30日(日)に桜川の採卵調査に参加しました。

◎ 方ほうは、

・子どもは、あみを持って1列にならびます。

・大人はしゃりをほりおこします。

・少しずつ上流に動いていきます。

水は冷たいですが、みんなできょうかしてがんばりました。

卵を5コ持ち帰ったので、元気なち魚がふ化するのを楽しみにしています。



※この用紙には活動に参加した子どもたちが自由に書いてください。



2014 こどもホタレンジャー報告書

活動して「気付いたこと、感じたこと、考えたこと」などを、みんなで話し合っ
て自由に報告してください。写真や絵などでも OK です。



34 川に入って、どんな魚がいるか
みんなで見つけました。ニゴイ、コイ、モツ、
オイカワ、モツガニ、フナ、スジエビ、ヨシノボリ
などたくさんの魚がいました。
水がきれいだからいろいろな魚がまた来
ていました。